

成功事例

稲敷市と地方創生事業『ライスミルク』の事例

茨城県 稲敷市様

筑波大学北村研究室の研究テーマの一つに「粉砕」技術(湿式粉砕技術)による新規需要米(主食米とは違い、加工を目的として生産される)があります。新規需要米は、主食米よりもタンパク質や脂肪、胚芽に特徴があり、主食米より低コストで約2倍の収穫が可能です。この「湿式粉砕技術」を活用して生まれたのが、生のお米を牛乳の様に取り扱うことが出来る「生ライスミルク」です。

筑波大学

聴こえを助ける補聴耳カバー『私のミミ』

株式会社テクノ・マイル様

JSTプラザ東海における「企業ニーズ」発表会。JST本部のそれとは、趣を変え、地域の中小企業にスポットを当てたイベントです。そこで聴講者である弊学の科学技術コーディネータが企業ニーズを知りました。研究協力会のシーズ講演にてシーズ掘り起こしを行い、研究者を紹介しました。企業と大学という点が、JSTの引いた線により見事に繋がりました。

名古屋工業大学

サージカルニーレスト（外科医が手術中に立位で使う椅子）

京新工業株式会社様

開発のきっかけは、平成26年7月に開かれた医工連携プロジェクト「C-square」のイベント「C-square EXPO」でした。このプロジェクトは、千葉県、千葉県産業振興センター、千葉大学、国立がん研究センター東病院が取り組んでおり、会場で千葉大が発表した「手術現場にこんな椅子があれば」との提案がヒントになりました。

千葉大学

気泡型鉛直センサの開発

有限会社 ジオテック様

(有)ジオテックの土田社長が茨城大学に来られ、鉛直センサの開発に関するお話がありました。土田社長は測量の専門家で、測量技術に精通・経験豊富、測量の問題点とその解決目標が明確でした。また、茨城大学の湊淳教授(応用粒子線科学専攻)と桑原祐史准教授(都市システム工学科)が関連技術を持っていることから、両者は共同研究に発展しました。

茨城大学

食中毒菌迅速多重検出システムの実用化

プリマハム株式会社様、タカラバイオ株式会社様

食中毒菌の遺伝子検査キットは既製品がりましたが、食品への活用には、前培養や核酸抽出過程等の至適化に検討を要するなどの問題があり、普及を妨げている現状がありました。当初の時点で食品からの検出のニーズがあることは理解しており、企業や衛生研究所でのインタビューからも明らかでした。さらに、遺伝子検査による検出系は高コストという点もあり、これも普及を妨げる原因となっていました。しかし、原因となる食中毒菌を複数同時に検出できれば結果としてコストダウンにつながるようになります。今後、遺伝子検査自体のコストも基本原理(PCRによる遺伝子増幅)の特許が順次切れていくことから、長期的にコストダウンとなっていく、より技術の普及が容易となる未来があることも本研究テーマを設計した際にイメージしたことです。

農研機構



国立大学法人筑波大学 国際産学連携本部

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
高細精医療イノベーション棟1F
TEL:029-859-1498/029-859-1684
FAX:029-859-1693



国立大学法人名古屋工業大学 産学官連携センター

〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町字木市29
TEL:052-735-5627
FAX:052-735-5542
Email: c-socc@adm.nitech.ac.jp



国立大学法人千葉大学 学術研究推進機構 産業連携研究推進ステーション 産業連携研究推進室

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学 西千葉キャンパス内
TEL:043-290-3565
FAX:043-290-3519
Email: ccrcu@faculty.chiba-u.jp



国立大学法人茨城大学 社会連携センター 産学連携課

〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1
TEL:0294-38-5005
FAX:0294-38-5240
Email: renkei@ml.ibaraki.ac.jp



国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構) 食農ビジネス推進センター 連携推進室

〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1
TEL:029-838-7698
FAX:029-838-7842
Email: joint_research@naro.affrc.go.jp

事務局

国立大学法人筑波大学 国際産学連携本部

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
高細精医療イノベーション棟1F
TEL:029-859-1498
029-859-1684
FAX:029-859-1693

URL: <http://www.sanrenhonbu.tsukuba.ac.jp/>

担当: 永井 明彦

✉ nagai.akhiko.hn@un.tsukuba.ac.jp

堤 芳紹

✉ tsutsumi.yoshitsu.ge@un.tsukuba.ac.jp



中小企業様を対象とした

産学連携 プラットフォーム Innovation Interface Platform



国立大学法人筑波大学
大学執行役員（産学連携担当）
国際産学連携本部
本部長 金保 安則

今回新しくご提供するプラットフォーム（大学・研究機関と産業の橋渡しサイト）は、複数の大学（筑波大学、名古屋工業大学、千葉大学、茨城大学）と研究機関（農研機構）が協力し、中小企業様とこれらの大学・研究機関が連携・協働して様々な事業をスムーズに推進することを目的としております。
本プラットフォームを通して、中小企業様の事業支援・課題解決の一助になりますことを期待しております。遠慮なくお問い合わせのほどよろしくご願ひ申し上げます。



国立大学法人名古屋工業大学
副学長（産学官連携・社会貢献担当）
産学官連携センター長 江龍 修

地域の垣根を越えたシーズ発掘の取り組みは、参画事業者の特色と地域性が明確に現れ「現状、どのような取り組みから取り掛かるべきか」という「当たり前の見える化」を共有する場として有効です。参画事業者のみならず、それぞれが関わっている企業等の活きたシーズを互いのニーズとマッチングさせる深いレベルでのプラットフォームとして活動していくことが出来れば、我が国全体の組織的産学創造の中核モデルとして期待できます。



国立大学法人千葉大学
学術研究推進機構
産学連携研究推進ステーション副所長
産学連携研究推進室室長 北村 孝司

本事業に参加することで、研究成果と社会実装の距離が少しでも縮まることを期待しています。特に、一つの大学単独では展開が難しい『分野を超えた研究成果の活用』が、このような連携を通じて加速されることを期待しています。また、研究情報の発信や相談窓口を複数の大学や研究機関をまたいで一本化することで、企業との接点の効率化、情報の共有化が図られ、今後の産学連携が加速することを期待しています。



国立大学法人茨城大学
社会連携センター
特命教授 福島 健太郎

本事業は、茨城県内外の大学・研究機関が協働して取り組むもので、本プラットフォームは「研究成果情報の効果的な提供と社会実装の促進」という各機関が抱える共通課題への対応の一環として実施するものです。
本プラットフォームが、今後、企業等が持つ様々なニーズへのよりの確・迅速な対応を可能とすることで新たなビジネス・研究機会の創出に寄与するツールとなることを期待しています。



農研機構
（国立研究開発法人 農業・食品産業
技術総合研究機構）
食農ビジネス推進センター
連携推進室室長 荒平 正緒美

筑波大学が中核機関となっている本事業に参加することで、参加している他機関との連携が深まると共に、多様な情報発信の機会を得られましたことは農研機構にとって大変貴重なことです。
本プラットフォームを活用することで、分野を超えた連携の可能性を探って行くと共に、本機構が保有する技術等の社会実装を進める上でのドライビングフォースとなることを期待しています。

産学連携プラットフォーム
Innovation Interface Platform

検索

お問い合わせ >



分野から技術情報を検索



健康・医療機器 >



食品 >



環境・エネルギー >



IoT・ロボット >



次世代自動車 >



ものづくり >

インフォグラフィックス

どのようなご相談でも無料で受け付けておりますので、いつでもお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ

お知らせ

MORE >

2016.07.26 名古屋工業大学 研究公募の合同説明会のご案内

2016.07.26 茨城大学 「ひたちものづくりフォーラム2016」開催のご案内

2016.07.26 千葉大学 第2回若手研究者フロンティア技術交流会を開催します

2016.07.26 筑波大学 研究公募の合同説明会のご案内

イベント

MORE >

2016.10.04 茨城大学 研究公募の合同説明会のご案内

2016.10.04 千葉大学 第2回若手研究者フロンティア技術交流会を開催します

2016.10.04 農研機構 「ひたちものづくりフォーラム2016」開催のご案内

2016.10.04 名古屋工業大学 研究公募の合同説明会のご案内



<https://sme-univ-coop.jp/>



産学連携プラットフォーム

大学や国立研究機関には、知恵(研究・特許・技術シーズ・知見(ノウハウ))がたくさんあります。コーディネーターが、中小企業様のニーズに合った解決方法を探します。

大学と国立研究機関の知恵を、一目でわかる技術シートとインフォグラフィックス(動画)で、ご紹介いたします。

中小企業様のお困りごとの解決に役立つ事例が、プラットフォームの成功事例に紹介されています。ぜひ、のぞいてみてください。

大学や
国立研究機関を
活用しましょう!

筑波大学、名古屋工業大学、千葉大学、茨城大学、農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)と中小企業様がコラボレーションする「共創の場」を提供します。

■プラットフォームとは?

筑波大学を中心に、複数の大学と国立研究機関が作ったインターネット上の中小企業様との共創の場です。

■相談は無料です!

中小企業様はいつでも、プラットフォームをお困りごとのご相談に利用いただけます。お気軽にお問い合わせください。

■ニーズとシーズがマッチング!

中小企業様のお困り事を大学や国立研究機関が解決します。

■分野ごとに探せます!

健康・医療機器、食品、環境・エネルギー、次世代技術(IoT・ロボット)、次世代自動車、ものづくり、の各分野から検索できます。

インフォグラフィックス(難解な情報をわかりやすく動画で説明したもの)

千葉大学

ホログラムデータ
作成プログラム



特開2013-120362の内容をわかりやすく説明します

千葉大学

シナモン抽出物、
ジンナムアルテヒド



特開2013-153889の内容をわかりやすく説明します

「産学連携」は以下のSTEPで進みます

STEP 1

1

お問い合わせ

STEP 2

2

聞き取り調査

STEP 3

3

研究者の紹介

STEP 4

4

打ち合わせ
研究者との

STEP 5

5

契約締結

STEP 6

6

研究の実施

詳細はWEBをご参照ください ▶ <https://sme-univ-coop.jp/>

